



2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年5月10日

上場会社名 株式会社スマサポ 上場取引所 東
コード番号 9342 URL <http://www.sumasapo.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 小田 慎三
問合せ先責任者（役職名） 代表取締役副社長（氏名） 藤井 裕介（TEL）050(1741)1119
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有（個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年9月期第2四半期の業績（2023年10月1日～2024年3月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	1,314	35.6	46	—	49	—	42	—
2023年9月期第2四半期	969	—	△42	—	△55	—	△66	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
2024年9月期第2四半期	17	48	17	21				
2023年9月期第2四半期	△28	99	—	—				

（注）1. 当社は2022年9月期第2四半期において四半期財務諸表を作成していないため、2023年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。

2. 2023年9月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載していません。

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
2024年9月期第2四半期	699	—	377	53.9		
2023年9月期	537	—	335	62.4		

（参考）自己資本 2024年9月期第2四半期 377百万円 2023年9月期 335百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	2,513	28.9	58	—	62	—	52	—	21	71

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年9月期2Q	2,405,200株	2023年9月期	2,405,200株
2024年9月期2Q	一株	2023年9月期	一株
2024年9月期2Q	2,405,200株	2023年9月期2Q	2,302,928株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第2四半期累計期間における我が国経済は、企業収益や個人消費の持ち直しが見られ、社会経済活動の正常化が進展すると共に景気は穏やかな回復基調で推移いたしました。一方で中東情勢の緊迫化など地政学的なリスクや為替変動などの影響による物価上昇が長期化し、依然として不透明な状況が続いております。

当社が主にサービスを提供する賃貸不動産管理業界におきましては、賃料水準は一部で上昇の兆しがみられ、また、既存物件の入居率も入居者のライフスタイルの多様化などにより、引き続き堅調に推移すると見込んでおります。

このような状況の下、当社の主力サービスである「スマサポサンキューコール」及び入居者アプリ「totono」の需要は高く推移しており、受注拡大に向け注力いたしました。「スマサポサンキューコール」においては、㈱リクルートの電子申込システム「申込サポートby SUUMO」との連携を2023年12月よりスタートさせ、より一層の取引先の拡大と安定収益の強化を図ると共に、収益率の改善を図るため既存顧客との取引条件の見直しを進めてまいりました。入居者アプリ「totono」においては機能面の強化や各社とのアライアンスに向けた開発を行っております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高は1,314,855千円（前年同四半期35.6%増）、営業利益は46,900千円（前年同四半期は営業損失42,936千円）、経常利益は49,974千円（前年同四半期は経常損失55,334千円）、四半期純利益は42,033千円（前年同四半期は四半期純損失66,758千円）となりました。

なお、当社は不動産管理会社向けソリューション提供事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ162,661千円増加し、699,978千円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ154,206千円増加し、483,429千円となりました。これは主に、現金及び預金が124,289千円、売掛金が31,328千円増加したこと等によります。

固定資産は、前事業年度末に比べ8,455千円増加し、216,549千円となりました。これは主に、有形固定資産が2,946千円減少した一方で、ソフトウェアが5,028千円、その他が6,128千円増加したこと等によります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ120,627千円増加し、322,732千円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ121,112千円増加し、315,640千円となりました。これは主に、買掛金が11,845千円、未払法人税等が10,799千円、短期借入金が70,000千円、その他が24,260千円増加したこと等によります。

固定負債は、前事業年度末に比べ484千円減少し、7,091千円となりました。これは主に、保証履行引当金が346千円減少したこと等によります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ42,033千円増加し、377,246千円となりました。これは、四半期純利益の計上により、利益剰余金が42,033千円増加したことによります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は293,365千円となり、前事業年度末に比べて124,289千円増加いたしました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは90,110千円の収入となりました。これは主に、税引前四半期純利益49,974千円及び減価償却費26,962千円の計上、未払消費税等の増加額17,538千円、仕入債務の増加額11,845千円の収入があった一方で、売上債権の増加額31,328千円の支出があったこと等によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは35,687千円の支出となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出32,971千円があったこと等によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは69,866千円の収入となりました。これは主に、短期借入金の純増加額70,000千円があったこと等によります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の業績予想につきましては、2024年2月9日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」の内容に変更はございません。なお、当該業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	169,076	293,365
売掛金	50,954	82,283
商品	13,150	16,152
その他	100,956	98,359
貸倒引当金	△4,914	△6,731
流動資産合計	329,223	483,429
固定資産		
有形固定資産	13,914	10,967
無形固定資産		
ソフトウェア	110,252	115,280
その他	38,076	44,204
無形固定資産合計	148,329	159,485
投資その他の資産	45,850	46,096
固定資産合計	208,094	216,549
資産合計	537,317	699,978
負債の部		
流動負債		
買掛金	56,693	68,539
未払法人税等	—	10,799
契約負債	60,517	61,128
短期借入金	—	70,000
賞与引当金	24,279	27,875
その他	53,037	77,297
流動負債合計	194,528	315,640
固定負債		
保証履行引当金	5,737	5,391
資産除去債務	1,700	1,700
その他	138	—
固定負債合計	7,576	7,091
負債合計	202,104	322,732
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,707	213,707
資本剰余金	203,707	203,707
利益剰余金	△82,202	△40,168
株主資本合計	335,213	377,246
純資産合計	335,213	377,246
負債純資産合計	537,317	699,978

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	969,345	1,314,855
売上原価	655,719	889,710
売上総利益	313,625	425,144
販売費及び一般管理費	356,561	378,244
営業利益又は営業損失(△)	△42,936	46,900
営業外収益		
受取配当金	—	2,900
補助金収入	500	—
その他	239	276
営業外収益合計	739	3,176
営業外費用		
支払利息	12	96
上場関連費用	13,123	—
その他	0	5
営業外費用合計	13,137	102
経常利益又は経常損失(△)	△55,334	49,974
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△55,334	49,974
法人税等	11,424	7,941
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△66,758	42,033

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△55,334	49,974
減価償却費	19,879	26,962
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,195	1,817
賞与引当金の増減額(△は減少)	△77	3,596
保証履行引当金の増減額(△は減少)	△173	△346
受取配当金	—	△2,900
支払利息	12	96
売上債権の増減額(△は増加)	20,218	△31,328
棚卸資産の増減額(△は増加)	2,454	△3,002
立替金の増減額(△は増加)	△52,462	△595
仕入債務の増減額(△は減少)	10,234	11,845
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△2,041	2,236
未払消費税等の増減額(△は減少)	△24,962	17,538
契約負債の増減額(△は減少)	△196	610
その他	△5,909	5,299
小計	△87,161	81,805
利息及び配当金の受取額	1	2,901
利息の支払額	△12	△108
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△13,076	5,512
営業活動によるキャッシュ・フロー	△100,248	90,110
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△462	△2,442
無形固定資産の取得による支出	△32,695	△32,971
その他	△1	△273
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,159	△35,687
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	70,000
株式の発行による収入	142,416	—
リース債務の返済による支出	△127	△133
財務活動によるキャッシュ・フロー	142,288	69,866
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,880	124,289
現金及び現金同等物の期首残高	303,405	169,076
現金及び現金同等物の四半期末残高	312,286	293,365

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。